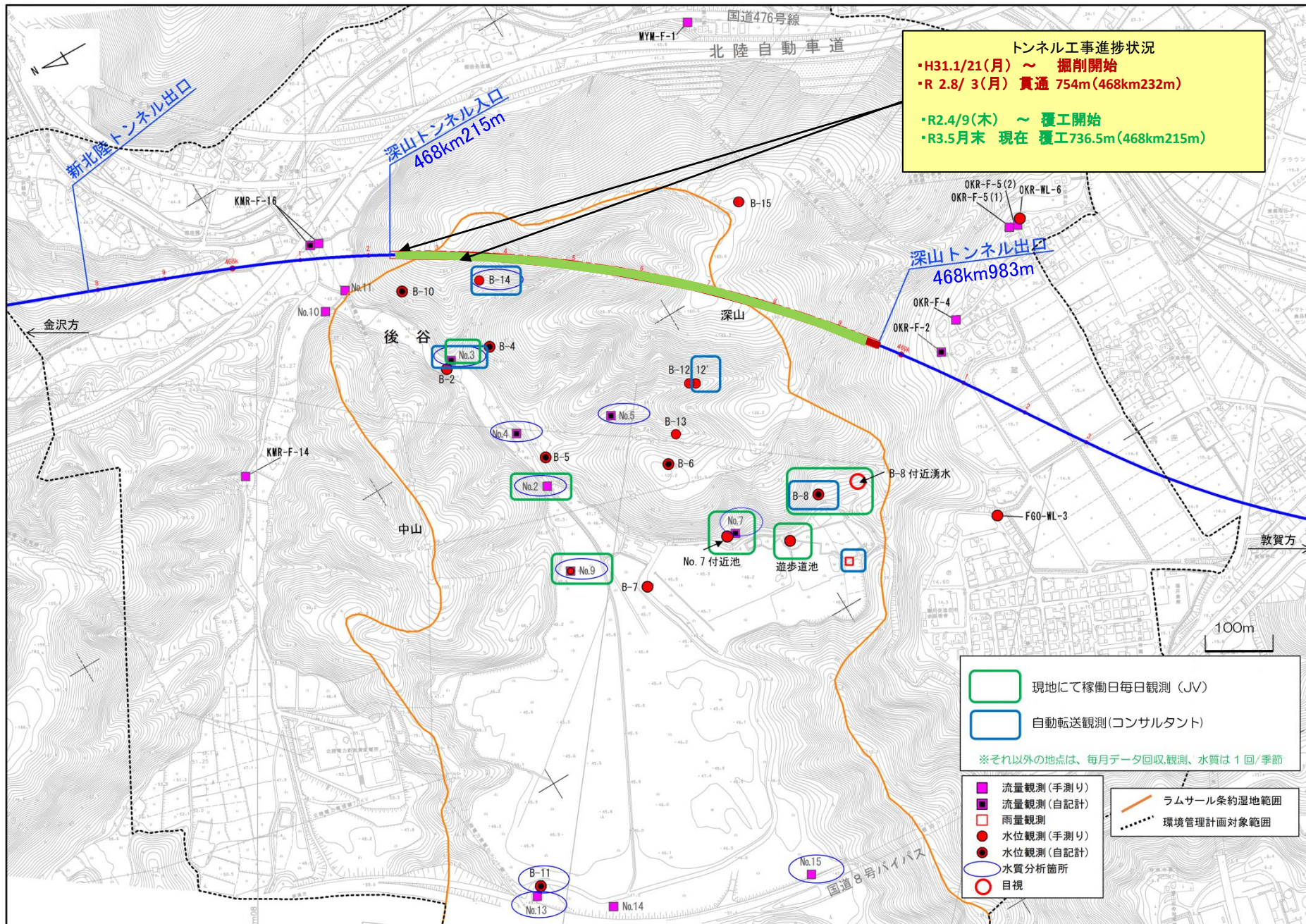


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間: 令和3年5月1日(土)～令和3年5月31日(月)

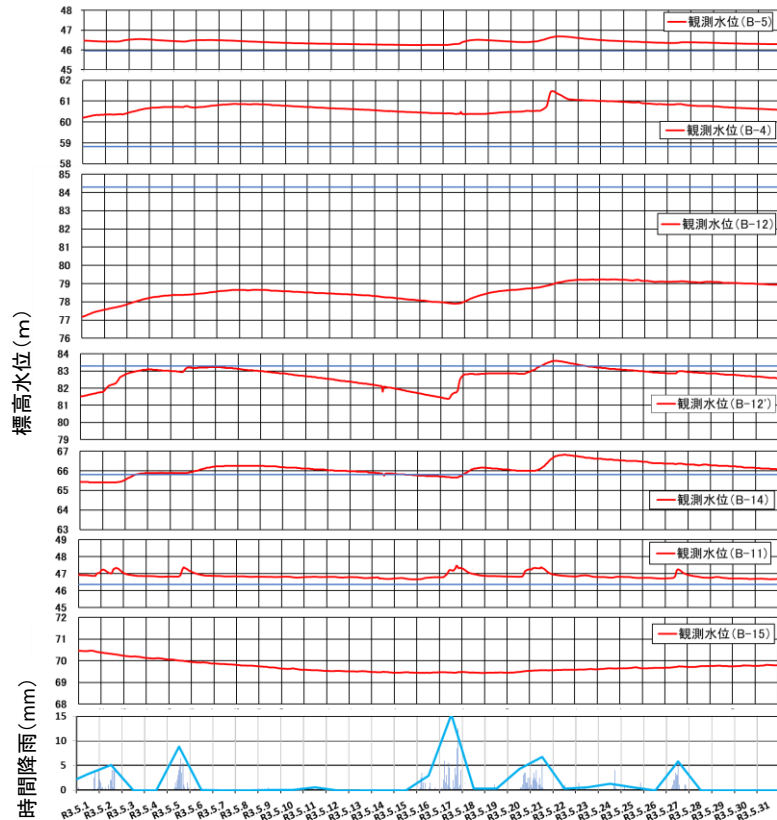
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



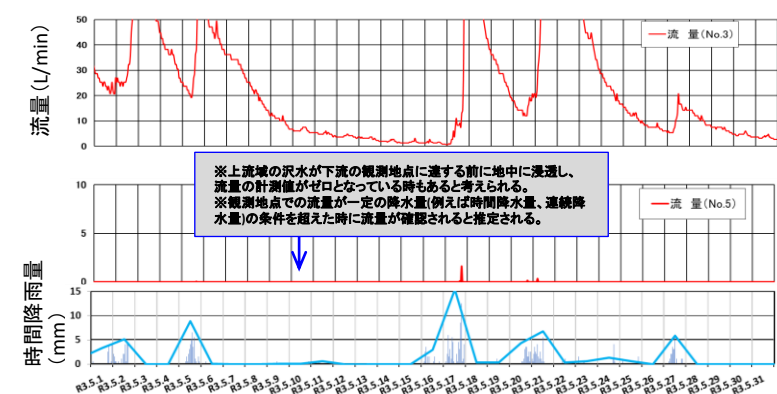
水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



※上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透し、流量の計測値がゼロとなっている時もあると考えられる。
※観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-11 地下水位
過年度最低水位
46.36m

B-15 地下水位

雨量
日雨量(mm)

No. 3 流量

No. 5 流量

雨量
日雨量(mm)

全体総括

- 目立った変動なし □やや変動あり
- 変動あり(注意体制への移行を検討)
- 期間中の地下水位低下量
- 1m未満ないし増加:すべて
- 2m未満 □5m未満 □5m以上
- 期間中の流量低下量
- 50ℓ/分未満ないし増加:すべて □50ℓ/分以上
- 期間中のpH変動量
- 0.5未満:B-8,B-12 □0.5以上 □1以上
- 日降水量
- 15mm未満 ■15mm以上:5日 ■50mm以上:1日
- 月降水量
- 80mm未満 □80mm以上 □130mm以上 ■200mm以上

概要

- 水位変動について
- ②B-4(自記水位計):降水に明瞭な反応を示さず若干水位は上昇するが期間末で若干低下する。
- ③B-12(自記水位計):5/2,5と5/17,20,21の降水で水位はゆるやかに上昇し、期間末は概ね一定となるが、引き続き過年度最低値を下回っている(今月△5.2m)。⇒今後も注視する。なお、pHの値の変化はみられない。
- ④B-12'(自動転送):5/2,5と5/17,20,21の降水で水位は上昇し一時的に過年度最低値を上回るが、期間末は若干低下し、引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。
- ⑤B-14(自動転送):5/2,5と5/17,20,21の降水で水位は一時的に上昇し過年度最低値を上回る。期間末は低下するも過年度最低値を若干上回っている。引き続き注視していく。
- ⑥B-15(自記水位計):期間前半は若干低下、後半は若干上昇、期間通してで0.7m程の水位低下がみられる。比較的路線に近い観測地点でもあるので、今後も注視していく。
- ⑦No.3(自動転送):5/2,5と5/17,20,21の降水で流量が増加したがそれ以降は減少傾向である。
- ⑧No.5(自記):5日に0.04L/分、17日に1.62L/分、20日に0.15L/分、21日に0.35L/分と観測地点にて若干量の流量を確認したが、それ以外は流量0となる。
- ⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。
- ⇒観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。
- ⑨No.9(手計り):過年度最低値より多い状態が続く(20ℓ/min以上)。
- 降水量について
- ①日最大降水量:5/17の61.5mmである。
- ⇒4月の日最大降水量は59.5mmであった。
- ②月の降水量:230.0mmである。
- ⇒4月の月降水量は162.0mmであった。